

愛知県 教職教養

【1】 次の(1)～(7)は、「あいちの教育ビジョン2025 ー第四次愛知県教育振興基本計画ー」（令和3年2月愛知県・愛知県教育委員会）に示されている基本的な取組の方向の一部を基にしたものである。
(a)～(c)内に当てはまるものを語群から選ぶとき、正しい組合せとなるものを解答群から一つ選び、番号で答えよ。

- (1) 自ら(a)教育を充実させ、自己の可能性を伸ばす力を育みます
- (2) 人としての在り方・生き方を考える教育を充実させ、(b)を伴った道徳性・社会性を育みます
- (3) 健やかな体と心を育む教育を充実させ、生涯にわたって、たくましく生きる力を育みます
- (4) ふるさとの魅力やあいちの伝統・文化に学びつつ、技術の進歩に取り組み、社会の発展を支える人を育みます
- (5) 世界とつながり、生き生きと活躍するために必要な力を育みます
- (6) 子供の意欲を高め、教師の(c)がある魅力的な教育環境づくりを進めます
- (7) 大規模災害や感染症拡大等の緊急時においても、子供たちが安心・安全に学べることを保障します

【語 群】 ア 教養を高める イ 学びに向かう ウ 実践力
 エ 持続力 オ 学びがよい カ 働きがよい

【解答群】 1 aーア bーウ cーオ 2 aーア bーウ cーカ
 3 aーア bーエ cーオ 4 aーア bーエ cーカ
 5 aーイ bーウ cーオ 6 aーイ bーウ cーカ
 7 aーイ bーエ cーオ 8 aーイ bーエ cーカ

【2】次の(1)～(3)は、「日本国憲法」(昭和21年11月公布)の条文の一部を基にしたものである。
(a)～(c)内に当てはまるものを語群から選ぶとき、正しい組合せとなるものを解答群から一つ選び、番号で答えよ。

- (1) すべて公務員は、全体の(a)であつて、一部の(a)ではない。 (第十五条2)
- (2) 思想及び(b)の自由は、これを侵してはならない。 (第十九条)
- (3) 配偶者の選択、財産権、相続、住居の選定、離婚並びに婚姻及び家族に関するその他の事項に関しては、法律は、(c)と両性の本質的平等に立脚して、制定されなければならない。 (第二十四条2)

【語 群】 ア 労働者 イ 奉仕者 ウ 良心
 エ 表現 オ 個人の尊厳 カ 基本的人権

【解答群】 1 aーア bーウ cーオ 2 aーア bーウ cーカ
 3 aーア bーエ cーオ 4 aーア bーエ cーカ
 5 aーイ bーウ cーオ 6 aーイ bーウ cーカ
 7 aーイ bーエ cーオ 8 aーイ bーエ cーカ

【3】次の(1)～(3)は、「教育基本法」(平成18年12月改正)の条文の一部を基にしたものである。
(a)～(c)内に当てはまるものを語群から選ぶとき、正しい組合せとなるものを解答群から一つ選び、番号で答えよ。

- (1) すべて国民は、ひとしく、その(a)を受ける機会を与えられなければならない、人種、信条、性別、社会的身分、経済的地位又は門地によって、教育上差別されない。(第四条)
- (2) 国及び地方公共団体は、障害のある者が、その障害の状態に応じ、(b)教育を受けられるよう、教育上必要な支援を講じなければならない。(第四条2)
- (3) 国及び地方公共団体は、能力があるにもかかわらず、(c)によって修学が困難な者に対して、奨学の措置を講じなければならない。(第四条3)

【語 群】 ア 能力に応じた教育 イ 状況に応じた支援 ウ 最低限の
 エ 十分な オ 年齢的理由 カ 経済的理由

【解答群】 1 aーア bーウ cーオ 2 aーア bーウ cーカ
 3 aーア bーエ cーオ 4 aーア bーエ cーカ
 5 aーイ bーウ cーオ 6 aーイ bーウ cーカ
 7 aーイ bーエ cーオ 8 aーイ bーエ cーカ

【4】次は、「教育職員等による児童生徒性暴力等の防止等に関する法律」（令和3年6月公布）の条文の一部を基にしたものである。（ a ）～（ c ）内に当てはまるものを語群から選ぶとき、正しい組合せとなるものを解答群から一つ選び、番号で答えよ。

この法律は、教育職員等による児童生徒性暴力等が児童生徒等の権利を著しく侵害し、児童生徒等に対し（ a ）にわたって回復し難い心理的外傷その他の心身に対する重大な影響を与えるものであることに鑑み、児童生徒等の（ b ）するため、児童生徒性暴力等の禁止について定めるとともに、教育職員等による児童生徒性暴力等の防止等に関し、基本理念を定め、国等の責務を明らかにし、基本指針の策定、教育職員等による児童生徒性暴力等の防止に関する措置並びに教育職員等による児童生徒性暴力等の早期発見及び児童生徒性暴力等への対処に関する措置等について定め、あわせて、特定免許状失効者等に対する（ c ）法（昭和二十四年法律第四百四十七号）の特例等について定めることにより、教育職員等による児童生徒性暴力等の防止等に関する施策を推進し、もって児童生徒等の権利利益の擁護に資することを目的とする。（第一条）

【語 群】 ア 学齢期 イ 生涯 ウ 成長を促進
 エ 尊厳を保持 オ 教育職員免許 カ 教育公務員特例

【解答群】 1 aーア bーウ cーオ 2 aーア bーウ cーカ
 3 aーア bーエ cーオ 4 aーア bーエ cーカ
 5 aーイ bーウ cーオ 6 aーイ bーウ cーカ
 7 aーイ bーエ cーオ 8 aーイ bーエ cーカ

【5】次は、「小学校学習指導要領」（平成29年告示）の「第2章 各教科」に示された目標の一部を基にしたものである。（ a ）～（ c ）内に当てはまるものを語群から選ぶとき、正しい組合せとなるものを解答群から一つ選び、番号で答えよ。

[社会]

社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考えたり、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を（ a ）したりする力、考えたことや（ a ）したことを適切に表現する力を養う。

[理科]

観察、実験などを行い、（ b ）を養う。

[生活]

身近な人々、社会及び自然を（ c ）で捉え、自分自身や自分の生活について考え、表現することができるようにする。

【語 群】 ア 推測・模索 イ 選択・判断 ウ 探究心
 エ 問題解決の力 オ 他者とのつながり カ 自分との関わり

【解答群】 1 aーア bーウ cーオ 2 aーア bーウ cーカ
 3 aーア bーエ cーオ 4 aーア bーエ cーカ
 5 aーイ bーウ cーオ 6 aーイ bーウ cーカ
 7 aーイ bーエ cーオ 8 aーイ bーエ cーカ

【6】次の(1)～(3)は、「中学校学習指導要領」(平成29年告示)の「第4章 総合的な学習の時間」の一部を基にしたものである。(a)～(c)内に当てはまるものを語群から選ぶとき、正しい組合せとなるものを解答群から一つ選び、番号で答えよ。

- (1) (a)な学習の過程においては、他者と協働して課題を解決しようとする学習活動や、言語により分析し、まとめたり表現したりするなどの学習活動が行われるようにすること。
- (2) 学びに向かう力、人間性等については、自分自身に関すること及び(b)との関わりに関することの両方の視点を踏まえること。
- (3) 年間や、単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成に向けて、生徒の主体的・対話的で(c)の実現を図るようにすること。

【語 群】 ア 多面的 イ 探究的 ウ 家庭や学校行事
 エ 他者や社会 オ 深い学び カ 広い学び

【解答群】 1 aーア bーウ cーオ 2 aーア bーウ cーカ
 3 aーア bーエ cーオ 4 aーア bーエ cーカ
 5 aーイ bーウ cーオ 6 aーイ bーウ cーカ
 7 aーイ bーエ cーオ 8 aーイ bーエ cーカ

- (1) 学校においては、卒業までに修得させる単位数を定め、（ a ）は、当該単位数を修得した者で、特別活動の成果がその目標からみて満足できると認められるものについて、高等学校の全課程の修了を認定するものとする。
- (2) （ b ）の一環として学校給食を実施する場合には、食育の観点を踏まえた適切な指導を行うこと。
- (3) 全日制の課程における週当たりの授業時数は、（ c ）単位時間を標準とする。ただし、必要がある場合には、これを増加することができる。

【解答群】

1	aーア	bーウ	cーオ	2	aーア	bーウ	cーカ
3	aーア	bーエ	cーオ	4	aーア	bーエ	cーカ
5	aーイ	bーウ	cーオ	6	aーイ	bーウ	cーカ
7	aーイ	bーエ	cーオ	8	aーイ	bーエ	cーカ

【8】次は、「特別支援学校小学部・中学部学習指導要領」（平成29年告示）の「第7章 自立活動」の目標の一部を基にしたものである。（ a ）～（ c ）内に当てはまるものを語群から選ぶとき、正しい組合せとなるものを解答群から一つ選び、番号で答えよ。

個々の児童又は生徒が自立を目指し、障害による学習上又は生活上の困難を（ a ）的に改善・克服するために必要な知識、技能、態度及び（ b ）を養い、もって心身の（ c ）的発達の基盤を培う。

【語 群】 ア 意欲 イ 主体 ウ 習慣
 エ 興味・関心 オ 飛躍 カ 調和

【解答群】 1 a－ア b－ウ c－オ 2 a－ア b－ウ c－カ
 3 a－ア b－エ c－オ 4 a－ア b－エ c－カ
 5 a－イ b－ウ c－オ 6 a－イ b－ウ c－カ
 7 a－イ b－エ c－オ 8 a－イ b－エ c－カ

【9】次は、「小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校等における児童生徒の学習評価及び指導要録の改善等について（通知）」（平成31年3月文部科学省）の一部を基にしたものである。（ a ）～（ c ）内に当てはまるものを語群から選ぶとき、正しい組合せとなるものを解答群から一つ選び、番号で答えよ。

学習評価の結果の活用に際しては、各教科等の児童生徒の学習状況を（ a ）に捉え、各教科等における学習状況を分析的に把握することが可能な（ a ）学習状況の評価と、各教科等の児童生徒の学習状況を（ b ）に捉え、教育課程全体における各教科等の学習状況を把握することが可能な（ c ）の双方の特長を踏まえつつ、その後の指導の改善等を図ることが重要である。

【語 群】 ア 能力別 イ 観点別 ウ 部分的
 エ 総括的 オ 偏差値 カ 評定

【解答群】 1 a－ア b－ウ c－オ 2 a－ア b－ウ c－カ
 3 a－ア b－エ c－オ 4 a－ア b－エ c－カ
 5 a－イ b－ウ c－オ 6 a－イ b－ウ c－カ
 7 a－イ b－エ c－オ 8 a－イ b－エ c－カ

【10】次の(1)、(2)は、「人権教育・啓発に関する愛知県行動計画」(平成31年3月愛知県)の一部を基にしたものである。(a)～(c)内に当てはまるものを語群から選ぶとき、正しい組合せとなるものを解答群から一つ選び、番号で答えよ。

- (1) (a)問題(部落差別)の実態や固有の経緯等を十分に認識しつつ、「部落差別の解消の推進に関する法律」の趣旨を踏まえ、全ての国民に基本的人権の享有を保障する(b)の理念にのっとり、部落差別のない社会の実現を目指して、教育・啓発などについて積極的に推進する。
- (2) 県民意識調査では、(c)に関する人権上の問題について、特に問題となっていると思うこととして、性同一性障害、性的指向ともに「理解が足りないため、世間から好奇又は偏見の目で見られること」が最も多く挙げられており、(c)に関する問題の正しい理解を促進することが求められている。

【語 群】 ア 同和 イ 国際 ウ 日本国憲法
 エ 教育基本法 オ 性的少数者 カ ジェンダーギャップ

【解答群】 1 aーア bーウ cーオ 2 aーア bーウ cーカ
 3 aーア bーエ cーオ 4 aーア bーエ cーカ
 5 aーイ bーウ cーオ 6 aーイ bーウ cーカ
 7 aーイ bーエ cーオ 8 aーイ bーエ cーカ

【11】 次の(1)～(3)は、「外国人児童生徒等の教育の充実について（報告）」（令和2年3月外国人児童生徒等の教育の充実に関する有識者会議）の一部を基にしたものである。(a)～(c)内に当てはまるものを語群から選ぶとき、正しい組合せとなるものを解答群から一つ選び、番号で答えよ。

- (1) 外国人児童生徒等の教育に関しては、単に日本語指導を行うだけではなく、児童生徒の文化的背景を踏まえた学校生活への適応や(a)の観点から、日本語と教科の統合指導、生活指導等を含めた総合的・多面的な指導を含むものである。
- (2) 外国人の子供たちが日本における生活の基礎を身に付け、その能力を伸ばし、未来を切り拓くことができるようにすることは、(b)に基づく確固とした権利であり、「誰一人取り残さない」という発想に立ち、社会全体としてその環境を提供できるようにしなければならない。
- (3) 日本語の能力が十分でない外国人児童生徒等は、言葉のハンディから、学習や(c)関係の形成に困難を抱えがちである。このため、適切な指導。支援の下で将来への現実的な展望が持てるよう、学校の内外を通じ、日本語教育のみならず、キャリア教育や相談支援などを包括的に提供する必要がある。

【語 群】 ア 学力保障 イ 健康保持 ウ 出入国管理法
 エ 国際人権規約 オ 交友 カ 利害

【解答群】 1 aーア bーウ cーオ 2 aーア bーウ cーカ
 3 aーア bーエ cーオ 4 aーア bーエ cーカ
 5 aーイ bーウ cーオ 6 aーイ bーウ cーカ
 7 aーイ bーエ cーオ 8 aーイ bーエ cーカ

【12】次のa～cは、学びに関する用語について述べたものである。それぞれの用語を語群から選ぶとき、正しい組合せとなるものを解答群から一つ選び、番号で答えよ。

- a 「したいからする」や「知りたいから調べる」といった、ある行動を行うこと自体が目的となるような動機づけ
- b 学習者の作品や活動内容に関するさまざまな学習記録を収集したもの、その中身やその入れ物のこと
- c 自分自身の認知過程をモニターするコントロールメカニズムとそれを支える知識

【語 群】 ア 外発的動機づけ イ 内発的動機づけ ウ ポートフォリオ
 エ ルーブリック オ メタ認知 カ 形式知

【解答群】 1 aーア bーウ cーオ 2 aーア bーウ cーカ
 3 aーア bーエ cーオ 4 aーア bーエ cーカ
 5 aーイ bーウ cーオ 6 aーイ bーウ cーカ
 7 aーイ bーエ cーオ 8 aーイ bーエ cーカ

【13】次は、明治初期の教育について述べたものである。(a)～(c)内に当てはまるものを語群から選ぶとき、正しい組合せとなるものを解答群から一つ選び、番号で答えよ。

1871年の文部省の新設に続いて、翌年に、(a)の学校制度にならった統一的な学制が公布された。政府は、国民各自が身を立て、智を開き、産を作るための学問という功利主義的な教育観をとなえて、小学校教育の普及に力を入れ、(b)学ばせる国民皆学教育の建設をめざした。専門教育では、1877年に旧幕府の開成所・医学所を起源とする諸校を統合して東京大学を設立し、多くの外国人教師をまねいた。(c)のための師範学校のほか、女子教育・産業教育についてもそれぞれ専門の学校を設けた。

【語 群】 ア アメリカ イ フランス ウ 全ての男子に
 エ 男女に等しく オ 軍人育成 カ 教員育成

【解答群】 1 aーア bーウ cーオ 2 aーア bーウ cーカ
 3 aーア bーエ cーオ 4 aーア bーエ cーカ
 5 aーイ bーウ cーオ 6 aーイ bーウ cーカ
 7 aーイ bーエ cーオ 8 aーイ bーエ cーカ

【14】次のア～オは、西洋教育史に関わる人物について述べたものである。正しいものを二つ選ぶとき、その組合せを解答群から一つ選び、番号で答えよ。

ア コメニウスは、混乱した世界を正道に戻すことができるのは教育だと考えて活動を行い、『大教授学』では、男女両性のすべての青少年が通う学校を構想し、彼らが楽しく着実に学べるような学校を作るための体系的な方法を提案した。

イ ロックは、近代哲学の父とも呼ばれるフランスの哲学者であり、代数幾何学の創始者でもある。『方法序説』で示され『省察』で詳論された「われ思う、ゆえにわれあり」という命題は近代哲学の原点となった。

ウ ヴィゴツキーは、旧ソ連の心理学者で、発達心理学や教育心理学の基本を構築した。『発達の最近接領域』では子どもがその時点で自発的にはできないが、援助があればできる課題水準があり、それが最適な学びのための課題のレベルを設定する指標となることを示した。

エ デューイは、イギリス経験論の父とも呼ばれ、『人間知性論』は認識論という近代哲学の中心的ジャンルの出発点となった。また、『教育に関する考察』では習慣形成を軸とする教育論を展開し、欲望を理性によって統御する習慣をつけることが教育の中心任務であると説いた。

オ デカルトは、アメリカの哲学者で、プラグマティズムの大成者とも呼ばれる。『学校と社会』では作業を中心とする新しい学校とカリキュラムのあり方を提案した。その影響は現代の「生活科」や「総合的な学習の時間」にもみることができる。

【解答群】 1 ア、イ 2 ア、ウ 3 ア、エ 4 ア、オ 5 イ、ウ
6 イ、エ 7 イ、オ 8 ウ、エ 9 ウ、オ 0 エ、オ

【正答番号一覧】

問題番号	正答番号
【1】	6
【2】	5
【3】	4
【4】	7
【5】	8
【6】	7
【7】	1
【8】	6
【9】	8
【10】	1
【11】	3
【12】	5
【13】	8
【14】	2

※一般教養の問題は掲載略

愛知県 論文試験

次の表は、インターネットの利用状況についての全国調査（注）からの抜粋である。この表からあなたは何を読み取るか。また、それを踏まえて、あなたは教員としてどのような教育を心がけたいか。900字以内で述べよ。

青少年のインターネットの利用時間（平日1日あたり）

	令和3年度		令和2年度		令和元年度	
	平均 利用 時間	3時間 以上の 割合	平均 利用 時間	3時間 以上の 割合	平均 利用 時間	3時間 以上の 割合
総数	263.5 分	65.3%	205.4 分	52.1%	182.3 分	46.6%
小学生	207.0 分	51.9%	146.4 分	33.6%	129.1 分	29.3%
中学生	259.4 分	67.1%	199.7 分	52.0%	176.1 分	45.8%
高校生	330.7 分	77.5%	267.4 分	69.5%	247.8 分	66.3%

（注）下記7機器によるインターネット利用状況についての調査

スマートフォン、契約していないスマートフォン、携帯電話、自宅用のパソコンやタブレット等、学校から配布された・指定されたパソコンやタブレット等、ゲーム機、テレビ

出典 「令和3年度青少年のインターネット利用環境実態調査」調査結果

内閣府令和4年3月

調査期間 令和3年11月3日～12月14日

調査対象 満10歳から満17歳の青少年5,000人（回収数3,395人）

名古屋市 教職教養

【1】 次の(1)～(3)の各問いに答えなさい。

- (1) 次の文は「公立の小学校等の校長及び教員としての資質の向上に関する指標の策定に関する指針」（令和4年8月31日 文部科学省告示）において、改正への背景及び趣旨について書かれているものから一部を抜粋したものである。文中の（ ア ）～（ エ ）に当てはまる語句として正しいものを、下の□の1～8からそれぞれ1つずつ選び、番号で書きなさい。

【背景及び趣旨】

グローバル化、（ ア ）の進展等、社会が急速に変化するとともに、先行き不透明で予測困難な時代が到来する中、「令和の日本型学校教育」の構築を目指して～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～（令和3年1月 中央教育審議会答申）においては、2020年代を通じて実現を目指す「令和の日本型学校教育」において実現すべき教員の理想的な姿が示された。具体的には、技術の発達や新たなニーズなど学校教育を取り巻く環境の変化を前向きに受け止め、教職生涯を通じて（ イ ）を持ちつつ自律的かつ（ ウ ）に新しい知識・技能を学び続け、子供一人一人の学びを最大限に引き出し、子供の（ エ ）な学びを支援する伴走者としての役割を果たすことである。

- | | | | |
|-------|-------|-------|-------|
| 1 探究心 | 2 主体的 | 3 過疎化 | 4 継続的 |
| 5 受動的 | 6 間欠的 | 7 好奇心 | 8 情報化 |

- (2) 「公立の小学校等の校長及び教員としての資質の向上に関する指標の策定に関する指針」（令和4年8月31日 文部科学省告示）では、5つの事項について、教員の資質向上に関する指標の内容を定めるとしている。5つの事項として正しくないものを、次の□の1～6から1つ選び、番号で書きなさい。

- | | | |
|--------|------------------------|------------|
| 1 学習指導 | 2 ICTや情報・教育データの利活用 | 3 教職に必要な素養 |
| 4 生徒指導 | 5 特別な配慮や支援を必要とする子供への対応 | 6 仕事と生活の調和 |

(3) 次の各文は「不登校児童生徒への支援の在り方について（通知）」（令和元年10月25日 文部科学省）に示されている「不登校児童生徒が自宅においてＩＣＴ等を活用した学習活動を行った場合の指導要録上の出欠の取扱いについて（別記2）」から抜粋したものである。（ア）～（ウ）に当てはまる語句の組み合わせとして正しいものを、下の□の1～6から1つ選び、番号で書きなさい。

- ＩＣＴ等を活用した学習活動とは、ＩＣＴ（コンピュータやインターネット、（ア）など）や郵送、ＦＡＸなどを活用して提供される学習活動であること。
- 訪問等による対面指導が適切に行われることを前提とすること。対面指導は、当該児童生徒に対する（イ）支援や将来の自立に向けた支援などが定期的かつ継続的に行われるものであること。
- 学習活動の成果を評価に反映する場合には、学校が把握した当該学習の計画や内容がその学校の（ウ）に照らし適切と判断される場合であること。

- | | | | | | | |
|---|---|----------|---|----|---|--------|
| 1 | ア | ＩｏＴシステム | イ | 財政 | ウ | 教育課程 |
| 2 | ア | 遠隔教育システム | イ | 財政 | ウ | 相談支援体制 |
| 3 | ア | ＩｏＴシステム | イ | 財政 | ウ | 相談支援体制 |
| 4 | ア | 遠隔教育システム | イ | 学習 | ウ | 教育課程 |
| 5 | ア | ＩｏＴシステム | イ | 学習 | ウ | 教育課程 |
| 6 | ア | 遠隔教育システム | イ | 学習 | ウ | 相談支援体制 |

【4】次の文は「令和4年版 障害者白書」（令和4年6月 内閣府）における「第3章 社会参加へ向けた自立の基盤づくり 第1節 障害のある子供の教育・育成に関する施策」の一部である。次の(1)～(3)の各問いに答えなさい。

(1) 文中の(ア)～(カ)に当てはまる語句として正しいものを、下の□の1～12からそれぞれ1つずつ選び、番号で書きなさい。

特別支援学校及び①特別支援学級においては、検定済教科書又は文部科学省著作の教科書以外の図書（いわゆる「一般図書」）を教科書として使用することができる。

また、文部科学省においては、拡大教科書など、障害のある児童生徒が使用する教科用特定図書等の普及を図っている。

具体的には、できるだけ多くの（ア）の児童生徒に対応できるよう標準的な規格を定めるなど、教科書発行者による拡大教科書の発行を促しており、2021年度に使用された、小・中学校の検定済教科書に対応した標準規格の拡大教科書は、ほぼ全点発行されている。また、教科書発行者が発行する拡大教科書では学習が困難な児童生徒のために、一人一人のニーズに応じた拡大教科書などを製作する（イ）などに対して、教科書デジタルデータの提供を行っている。このほか、通常の検定済教科書において一般的に使用される文字や図形等を認識することが困難な②発達障害等のある児童生徒に対しては、教科書の文字を音声で読み上げるとともに、読み上げ箇所がハイライトで表示される（ウ）等の音声教材を提供できるよう、関係協力団体（大学・特定非営利活動法人等）に効率的な製作方法等の調査研究を委託し、成果物である音声教材を無償提供するなど、その普及推進に努めている。

さらには、近年の教育の情報化に伴い、2020年度から実施されている新学習指導要領を踏まえた「主体的・（エ）で深い学び」の視点からの授業改善や、障害等により教科書を使用して学習することが困難な児童生徒の学習上の支援のため、2018年に「学校教育法」（昭和22年法律第26号）等の改正等を行い、2019年度より、視覚障害や発達障害等の障害等により（オ）を使用して学習することが困難な児童生徒の学習上の困難を低減させる必要がある場合には、教育課程の全部において、（オ）に代えて（カ）を使用することができることとなった。これに関し、文部科学省では、2021年度において、特別支援学校及び特別支援学級を含む全国約4割の小中学校等に、（カ）を1教科分提供する事業等を実施した。

- | | | | |
|---------|---------|-------------|-----------------|
| 1 弱視 | 2 協働的 | 3 データ管理機関 | 4 マルチメディアデイジー教材 |
| 5 点字教科書 | 6 視聴覚教材 | 7 紙の教科書 | 8 学習者用デジタル教科書 |
| 9 難聴 | 10 対話的 | 11 言語指導の教科書 | 12 ボランティア団体 |

(2) 下線部①特別支援学級に在籍する児童生徒については、「小学校学習指導要領解説」（平成29年7月 文部科学省）及び「中学校学習指導要領解説」（平成29年7月 文部科学省）において個別の教育支援計画を全員について作成するとしている。この2つの学習指導要領解説の中で示されている個別の教育支援計画の意義、位置付け及び作成や活用上の留意点として、正しくないものを次の□の1～4から1つ選び、番号で書きなさい。

- 1 障害の状態等に応じた指導内容や指導方法の工夫を検討する際の情報として個別の指導計画に生かしていくこと。
- 2 進路先に在学中の支援の目的や教育的支援の内容を伝えること。
- 3 一人一人の実態等に応じた具体的な指導目標及び指導内容を設定すること。
- 4 支援の内容を整理したり、関連付けたりするなど関係機関の役割を明確にすること。

(3) 下線部②発達障害について、「発達障害者支援法の一部を改正する法律」（平成28年8月 文部科学省）において、「基本理念の新設について（第2条の2関係）」に示されている発達障害者の支援に関する内容のうち、正しくないものを次の□の1～4から1つ選び、番号で書きなさい。

- 1 全ての発達障害者が社会参加の機会が確保されること。
- 2 社会的障壁の除去に資することを旨として行われなければならないこと。
- 3 成年後見制度を利用しなければならないこと。
- 4 どこで誰と生活するかについての選択の機会が確保され、地域社会において他の人々と共生することを妨げられないこと。

【5】次の文は、「こども基本法」（令和5年4月1日施行）の一部である。下の(1)、(2)の各問いに答えなさい。

第三条 こども施策は、次に掲げる事項を基本理念として行われなければならない。

- 一 全てのこどもについて、個人として尊重され、その（ ア ）が保障されるとともに、差別的取扱いを受けることがないようにすること。
- 二 全てのこどもについて、適切に養育されること、その生活を保障されること、愛され保護されること、その健やかな成長及び発達並びにその自立が図られることその他の（ イ ）が等しく保障されるとともに、教育基本法（平成十八年法律第二十号）の精神にのっとり教育を受ける機会が等しく与えられること。
- 三 全てのこどもについて、その年齢及び発達の程度に応じて、自己に直接関係する全ての事項に関して（ ウ ）及び多様な社会的活動に参画する機会が確保されること。
- 四 全てのこどもについて、その年齢及び発達の程度に応じて、その意見が尊重され、その（ エ ）が優先して考慮されること。
- 五 こどもの養育については、家庭を基本として行われ、父母その他の保護者が第一義的責任を有するとの認識の下、これらの者に対してこどもの養育に関し十分な支援を行うとともに、家庭での養育が困難なこどもにはできる限り（ オ ）を確保することにより、こどもが心身ともに健やかに育成されるようにすること。
- 六 家庭や子育てに夢を持ち、子育てに伴う喜びを実感できる（ カ ）を整備すること。

(1) 文中の（ ア ）～（ ウ ）に当てはまる語句として正しいものを、次の□の1～6からそれぞれ1つ選び、番号で書きなさい。

- | | | |
|-------------|----------------|------------|
| 1 意見を表明する機会 | 2 最低限度の生活を営む権利 | 3 状況に応じた支援 |
| 4 幸福な生活 | 5 福祉に係る権利 | 6 基本的人権 |

(2) 文中の（ エ ）～（ カ ）に当てはまる語句の組み合わせとして正しいものを、次の□の1～6から1つ選び、番号で書きなさい。

- | | | |
|----------------|--------------|--------|
| 1 エ 心身の状況 | オ 家庭と同様の養育環境 | カ 家庭環境 |
| 2 エ 最善の利益 | オ 就学の機会 | カ 教育環境 |
| 3 エ 学習活動に対する支援 | オ 教育を受ける機会 | カ 社会環境 |
| 4 エ 心身の状況 | オ 教育を受ける機会 | カ 家庭環境 |
| 5 エ 最善の利益 | オ 家庭と同様の養育環境 | カ 社会環境 |
| 6 エ 学習活動に対する支援 | オ 就学の機会 | カ 教育環境 |

【6】次の文は、「第5次男女共同参画基本計画」（令和2年12月 内閣府）の一部である。

文中の(1)、(2)に当てはまる語句として正しいものを、下の□の1～4からそれぞれ1つずつ選び、番号で書きなさい。

地方公共団体や関係機関・団体と連携し、人権に配慮し、固定的な性別役割分担意識や性差に関する偏見の解消、固定観念を打破するとともに、(1)による悪影響が生じないよう、男女双方の意識改革と理解の促進を図る。また、人々の意識形成に大きな影響力をもつ (2)及びメディアの分野における政策・方針決定過程への女性の参画を促進する。

- | | |
|--------------------------|---------|
| 1 無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス） | 2 貧困 |
| 3 学校教育 | 4 健康と福祉 |

名古屋市 本試験問題
正答番号一覧

【2023年実施】

問題番号	正答番号
1	(1) ア 8
	イ 1
	ウ 4
	エ 2
	(2) 6
	(3) 4
4	(1)ア 1
	イ 12
	ウ 4
	エ 10
	オ 7
	カ 8
	(2) 3
	(3) 3
5	(1)ア 6
	イ 5
	ウ 1
	(2) 5
6	(1) 1
	(2) 3

※一般教養の問題は掲載略

2023年実施試験（2024年採用選考）

名古屋市 論文試験

「バランス」という言葉から想起されるテーマを設定し、あなた自身の具体的な体験と教育観とを関わらせて論述しなさい。